




にほんご人 お〜い!

国際交流基金ベトナム日本文化交流センター

ニューズレター2016年10月号 (第三号)

- ❖ 日本語力アップ
 - ❖ シンチャオ先生
 - ◆日本語教師にインタビュー
勇気日本語学校(Hanoi) Vu Thi Phuong 先生
 - ◆生徒にインタビュー
勇気日本語学校(Hanoi) Nguyen Ngoc Thang さん
 - ❖ 日本語でお仕事
 - ◆働く人ーベトナム人への質問
ブライセンベトナム 総務部 リーダー(Hue) Le Thi Ngoc 様
 - ◆一緒に働く人ー日本人への質問
ブライセンベトナム 社長(Hue) 鎌田 大介様
 - ❖ 日本への道
大阪大学大学院生 Nguyen Thi Huyen Trang さん
 - ❖ 笑顔の日本語クラス
 - ❖ 日本語パートナーズさん ようこそベトナムへ!
 - ❖ 【特別企画】わたしの日本語体験談
 - ❖ 離着任の挨拶
- 

教室の外で日本語を使おう！

国際交流基金
ベトナム日本文化交流センター
日本語専門家 中尾菜穂

日本語が上手になりたい！そのために、毎日がんばって勉強している皆さんに、今回は、教室での勉強以外の方法を少しご紹介します。

これは、日本で働きながら、日本語力をアップさせてきた先輩たちの経験です。生活の中に日本語がたくさんある日本と、なかなか日本語にふれる機会のない外国では、違うこともたくさんありますが、皆さんでも使える方法があるかもしれません。聞いてみましょう！

携帯電話の言語表示を日本語にしました。「入力」「着信」「履歴」などの言葉が見てすぐにわかるようになりました。

⇒スマホ・パソコンを利用する

私は買い物が好きなので、日本語のネットショッピングのページをよく見えています。わからない言葉は辞書を使って調べます。今はだいたいわかるようになりました。

⇒好きなことを日本語で調べる

私は毎週日曜日に教会に行きます。そこで、日本語の聖書の翻訳をしました。毎週、聖書の一節を日本語からポルトガル語に自分で翻訳して、牧師さんにチェックしてもらいました。おもしろかったです。

⇒よく行く場所を利用する

私はカラオケが好きです。カラオケは、字幕が出るので漢字の勉強もできます。歌と一緒にいろいろな日本語も覚えました。

⇒歌、アニメ、ゲームを日本語で楽しむ

いかがでしたか？

「生活の中で／好きなことで」うまく日本語を使っているのがポイントですね。皆さんも、教室の外で楽しく日本語を使う方法を工夫して、日本語力をアップさせていきましょう！

日本のアニメやスイーツが好きな人は、右のHPも見てくださいね。

日本語学習ウェブサイト「ひろがる」

<https://hirogaru-nihongo.jp/>



シンチャオ先生



この「シンチャオ先生」と次の「生徒にインタビュー」のコーナーでは、日本語を教えるベトナム人教師とその生徒であるベトナム人学習者の双方にお話を伺い、同じ学びの場において立場の異なる視点から感じたことや経験について記事を掲載しています。

今号のインタビューに答えてくれたのは、勇気日本語学校 **Vu Thi Phuong** 先生です。

◆日本語を学び始めたのはいつからで、これまでどのぐらい日本語の先生をしていますか。

日本語を学び始めたのは2008年の3月でした。今まで5年間日本語の先生をしております。

◆どうして日本語の先生になろうと思いましたか。

日本語教師になったきっかけは、日本語を勉強し始めた時に私に日本語を教えてくださいました先生です。その先生は3年間日本で働き、帰国してから日本語教師になったのです。だからこそ私は「精一杯頑張れば、ベトナムに帰った後でその先生みたいな日本語の先生になれるかな」と自分に何回も聞いていました。

私が日本へ行ったのは2008年の9月でした。その時は日本にいる夫と再会したいという気持ちが大きかったのですが、日本で日本語の勉強を始めてから、だんだん日本語が好きになりました。日本の文化も面白くてもっと勉強したいと思いました。日本での3年間、日本人の皆様にも色々な知識を優しく、親切に教えていただきました。本当にありがたくて、心から感謝しております。

帰国してから、日本語の家庭教師として日本語を教えました。最初は大変だったんですが、だんだん自信を持って自分の面白い授業ができるようになりました。皆様が応援してくださいのおかげで、今では日本語の先生になり、5年間経ちました。大変嬉しいです。素敵な日本で学んだ知識や体験できたことなどの日本の文化は心をこめ、大好きな生徒たちにちゃんと伝えたいと思っています。

◆日本語の先生をしていて、嬉しいことは何ですか。

日本語の先生をしていて、嬉しいことは教えた生徒が成功したときです。時折日本からの電話をもらいます。「先生、私はN2に合格したよ」とか「先生、大学の入学試験よくできたよ」と言う言葉を聞くと本当に涙が出るぐらい感動します。私はできるだけ日頃の生活の中で生徒のターニングポイントを見てあげたいと思っています。

◆日本語の先生をしていて、大変なことは何ですか。

日本語の先生をしていて、大変なことは言語の獲得が厳しい生徒に教えた際、何度教えても分からない状態になってしまいます。日本語はとて難しいのでだれでも上手になるとは限りません。私は以前生徒でしたから生徒の気持ちがよくわかります。

◆日本語を教えている生徒はどうですか。

教師と言う職業は渡し守みたいなだと思っています。ひとつの船の旅が終わっても次の船を迎えに行かなければなりません。生徒の存在が私にやる気をおこさせます。ですからもつと働きたいと思っています。どのクラスも一つずつ忘れられない思い出が残っております。私の生徒は面白くていつも一生懸命勉強しています。

◆日本語を勉強している生徒に望むことは何ですか。

私の希望は、生徒が目標を選択してできるだけその目標に到達できるように頑張ってもらいたいということです。

◆最後に、どんな先生になりたいですか。

学生は「フォン先生みたいに日本で働きたい」「フォン先生のような先生になりたい」と言ってくれます。この言葉を励みに、仕事の時間と家族に向き合う時間を両立して日本語教師としてこれからも頑張っていきたいです。



生徒にインタビュー

この「生徒にインタビュー」と前の「シンチャオ先生」のコーナーでは、日本語を教えるベトナム人教師とその生徒であるベトナム人学習者の双方にお話を伺い、同じ学びの場において、立場の異なる視点から感じたことや経験について記事を掲載しています。

今号のインタビューに答えてくれたのは、勇氣日本語学校で日本語を勉強している **Nguyen Ngoc Thang** さんです。



◆ いつから日本語を勉強していますか。

子供の頃から、漫画やアニメなどの日本の文化を通じて、日本語を知っていましたが、2015年9月に日本語の勉強を始めました。なぜかという日本に留学に行くことにしたからです。ハノイの日本語学校をネットで調べると、評判が良いと分かり、近所の友達も行っていた勇氣日本語学校で日本語を勉強することを決めました。

◆ どうして日本語を勉強しようと思いましたか。

日本の映画を見たり、漫画を読んだりしていました。日本語が好きになりました。私が高校生の時、父は日系企業で働いていました。父から日本の文化や礼儀正しい社内マナーなどを聞き、日本に関わる仕事がしたくなりました。それで、日本語を勉強することにしました。

◆ Phuong 先生はどんな先生ですか。

先生は日本語の知識だけではなく、日本の文化もちゃんと分かっていますし、教え方も分かりやすいです。フォン先生と勇氣センターの先生方は学生のために課外活動をよく行っています。日本で勉強している学生や就職している学生をいつでも手伝って、応援してあげています。それを聞いて、とても感動しています。熱心で、優しいフォン先生に日本語を教えてもらうのは私にとって、とても楽しいことです。

◆ 日本語を勉強していて、難しいことは何ですか。

日本語の勉強を始めてから約1年が経ちましたが、フォン先生のおかげで勉強で困っていることはあまりありません。何でもはっきり説明してもらっています。私にとって、一番大事なことは自分の意識です。困っているというより、先生に聞きたいことがたくさんあります。

◆ 日本語を勉強していて、楽しいことは何ですか。

日本語は面白いことがたくさんあります。特に漢字です。漢字は色々な部首があって、面白いと思います。漢字を通じて、日本の面白いことわざが分かるようになりました。

◆ 日本や日本語の好きなのところはどんなところですか。

日本の社内マナーや相手を思いやる言葉や態度、社会ルール(並んで待つ・町をきれいにするなど)などが気に入っています。特に礼儀正しい文化が好きです。

◆ これから日本語とどう関わっていきたいですか。

日本語がちゃんと分かって、日本人とうまく話せるようになりたいです。さらに、情報技術に関する仕事もやりたいので、そういう専門に関わるのが理解できるようになりたいです。将来は、できれば、日本で働きたいです。



「日本語でお仕事」のコーナーでは、日系企業で働くベトナム人の視点から仕事について感じたことや経験についてお話を伺っています。また、同一の職場で働く日本人にもお話を伺い、立場の異なる視点から仕事について感じたことや経験について記事にし、掲載しています。今号のインタビューに答えてくださったベトナム人の方は、フエにある、ブライセンベトナム（BRYCEN VIETNAM Co.,Ltd.）総務部 リーダー **Le Thi Ngoc** 様です。

◆いつから日本語を勉強していますか(どんなところでどのくらい日本語を勉強しましたか)。

2010年からフエ外国語大学で4年間日本語を勉強しました。

◆今の仕事を始めたきっかけは何ですか(どうして今の仕事を選びましたか)。

大学を卒業しましたが、フエでは日系の会社がまだありませんでしたので、ダナン市にある会社に入社しました。2年間働きましたが、やはり地元に戻りたい気持ちが強く、フエ市の縫製社に転職し、1年間ぐらい勤めました。その後、ブライセンベトナムがコミュニケーターの募集をしているという情報を聞き、応募して合格しました。しかし、面接の際に、コミュニケーターではなく、総務を担当して貰えないでしょうかと勧められ、心配しましたが一度やってみようと思い担当する事になりました。今まで総務部で一年間ぐらい勤めています。

◆仕事の内容を簡単に教えてください(どんな時、日本語を使って仕事をしますか)。

総務は会社に関係する全ての事をしなければなりません。私の仕事は給料計算、採用、社会保険、備品購入、現金管理、人事など、会社関係の手続きや作成などを担当しています。これらの仕事は、全て社長の承認を頂いてから実施しますので、殆ど毎日日本語を使って仕事をしております。

◆どんな時、仕事が大変だと感じますか。

お金を取り扱いますので、特に月末の給料計算や入出金管理をする事は、ミスがないように慎重かつ、期限内に完了しないといけないので、一番大変だと思います。

◆どんな時、仕事が楽しいと感じますか。

経験をした事のない仕事や、難しい仕事が完了したときに、自分の能力が一段上がった感じがして、楽しいと感じます。

◆これからどんな人になりたいですか。

もっと日本語を流暢に話せ、様々な仕事をきちんとこなせる人になりたいです。

◆日本語を使って仕事をしたい人にアドバイスをお願いします。

一般的に、日本語が一番難しい言語と言われています。日本語を使って、仕事がよく出来る様に日本語をしっかり勉強しないといけないと思います。又、日本人は仕事をする時に、ハウレンソウ(報告・連絡・相談)がとても大切なので、それをちゃんと実現すれば大きな問題がないと思います。



「日本語でお仕事」のコーナーでは、日系企業で働くベトナム人の視点から仕事について記事にすると共に同一の職場で働く日本人にもお話を伺い、立場の異なる視点から仕事について感じたことや経験について記事にし、掲載しています。

今号のインタビューに答えてくださった日本人の方は、
ブライセンベトナム (BRYCEN VIETNAM Co.,Ltd.) 社長 **鎌田 大介** 様です。

◆御社（貴社）の会社概要を教えてください。

当社は、日本の株式会社ブライセンの100%子会社で、2013年に設立したベトナムの現地法人です。ベトナム中部のフエ市に所在し、スマートフォンアプリケーション開発、ソフトウェア開発(組み込み、PLC関連、Webサイト関連)、需要予測型自動発注システム開発・運用支援、DTP(地図作成・画像加工)などを行っております。現在従業員が120名その内日本語能力検定N3以上を保有している者が21名おります。



◆日本語が話せるベトナム人の方にはどんな仕事を担ってもらっていますか。

エンジニア職は、ソフトウェア開発のブリッジSEとして、日本とのやり取りやベトナム側のマネジメントを行ってもらっています。

その他の人も、それぞれの担当業務で日本側顧客とのやり取りや翻訳などを行っていただいています。

日本語を使って、どんな仕事をするかというところに重点を置いて人員配置を行っております。

◆ベトナム人と一緒に働くことはどうですか。

今は、ベトナム人だから・・・という考えはなくなりました。当初は、自分がぼんやりした指示を出して、しっかりした回答を期待したときもありましたが、結局自分の指示がはっきりしていないから、結果もその通りになる事を経験しました。そういう意味では、仕事の時ははっきり、要求を伝える事が大切だと学びました。～だろうとか、これを言うのとちょっと気まずいかなという考えは、後々お互いにとってマイナスになります。また、意外にも皆さん私の健康等を気にかけてくれて、社長日本に帰って太りましたねとか、気軽に声を掛けてもらえ、日本人同士より距離感が近い事は良い事だと思います。

◆ベトナム人従業員に求めることは何ですか。

まだまだ、会社の規則を守る事や要求された事に対するアウトプットの粗さは、否めません。そこは、長期の目線で一緒に成長すれば良いと考えております。まずは、素直であることが一番重要かと思えます。誰もミスをするのは仕方ないですが、言い訳が上手な人は信用できませんし、本人もそれ以上成長しないと思います。

◆ベトナム人従業員を採用するとき、どんなところを見ていますか。

大学で勉強しただけでも、経験者として応募してくる事が多いですが、自分がやってきた事、自分がやりたい事をより、具体的に話せるかどうかはチェックしています。また、経験がなくても、正直に話して、何かを習得したいという熱意があるかを見ています。

日本企業だから、日本に行くチャンスがある、だけを言う人はダメですね。

日本ではNGですが、両親の仕事・家族構成なども本人の性格形成に大きな影響を与えているものと考え、ヒアリングをしております。

◆その他、読者に伝えたいベトナム人スタッフとのエピソードなど何かあれば、お願いします。

弊社も、イベントが多く、社員の参加率も非常に高く社員からも好評です。

最近、ふとお酒を飲む女性が増えているように感じました。先日も社員旅行で、1泊2日にてホンニャ・ケバンに行きましたが、かなりの女性がビールなどを飲んでおりました。Hue人は、勤勉で、伝統を重んじる保守的な性格の人が多く、私がHueに来た4年前は、女性はほとんどお酒を飲みませんでしたので、時代の変化の早さを感じました。

また、お酒を飲まない大人しい男性も増え、IT業界だからかも知れませんが、ベトナムでもいわゆる草食系男子が増えていると思いました。

今後、社員が増えるにつれ、飲む人・飲まない人、家族連れなど様々な社員が楽しめるイベントを引き続き開催していきたいと思っております。

今号の執筆者:

大阪大学大学院生

Nguyen Thi Huyen Trang さん

(ダナン外国語大学卒業生)



日本への道

この「日本への道」のコーナーでは、日本に留学経験のあるベトナム人の方にお話を伺っています。

今日本語を学習しているみなさんの中にも、日本への留学に関心がある人が多いのではないかと思います。留学のためにはどのような準備が必要か、どの程度の日本語力が必要か、そして日本の生活がどんなものかを、今留学している先輩のお話を読んで、少しでも参考にしたいだけではないかと思います。

◎いつから日本語を勉強していますか。

2008年9月、ダナン外国語大学に入って日本語を勉強し始めました。今でもまだ、私の日本語習得の道は続いています。

◎今どこに留学していますか。どんなことを研究していますか。

今大阪に留学しています。具体的には、大阪大学の院生として日本語の音声について研究しています。それに、日本語能力を高めるため、大学で日本語の授業も受けています。

◎日本では、どんなところに住んでいますか。また、日本で生活するためにどのぐらいお金が必要ですか。

大阪府の北にある滝と紅葉に代表される景勝地・箕面市に住んでいます。

現在、日本政府の奨学金で留学しているので、学費及び生活費は自分で支払っていません。しかし、日本に留学した最初の一年間は私費でしたから、約150万円かかりました(学費を含む)。

◎留学先で、普段どんな生活を送っていますか。よろしければ、具体的に教えてください。

院生の日常生活は学部生のとは違って、研究室にどっぷりと浸かる生活になります(笑)。平均して一日に1~2コマの講義があり、残りの時間は研究室でのゼミや研究になります。外国人日本語学習者の私にとって、日本人と同じく専門的な授業を受けたり、学会で発表したり、2年間で日本語の論文を完成させたりするのは簡単なことではないと思っています。ですので、毎日時間をうまく使って、研究を頑張っています。平日は勉強で忙しいですが、週末と祝日は友達とショッピングしたり、おしゃべりしたり、旅行したりして楽しい生活を毎日送っています。

◎留学していて、楽しいこと、大変なことは何ですか。

日本に留学して、生活の楽しさはもちろんのこと、研究の楽しさも辛さも経験できました。

大学院の一学期には、自分の専門知識がまだ十分ではないため、本を読んでも理解できなくて、授業の内容に限界を感じてしまいました。とても辛かったです。ですが、全て乗り越えて振り返ると大学院に入学することも、興味を持っている日本語の音声の研究できることも全て楽しいことだと思っています。

それに、ベトナムのことに興味がある日本人にベトナム語の挨拶や伝統的な服や料理等を紹介するプログラムに参加しています。「ベトナムに行きたい」「ベトナムのことをもっと知りたい」等、日本人の参加者から返事をもらった時、何よりも嬉しいです。

◎留学を考えている人へのアドバイスをお願いします。

留学は大きなチャレンジです。誰でも大変なことを乗り越えて有意義な留学期を送ることが出来ます。自分を抑えず、新たな一歩を踏み出し、自分に大きな変化を自らもたらし、是非自分を成長させる手段として留学にチャレンジしてください。今、チャンスがあるうちに自ら積極的に行動してみましょう。

しかし、留学期は楽しいことだけではなく辛いことも一杯あります。そのことを心掛けてください。辛くて諦めそうな時、留学目的を思い出して、続けて頑張ってください。夢が叶うことを願っています。

お知らせ

日本留学Q&A

在ベトナム日本国大使館のWEBサイトで、

日本留学についての様々な情報を知ることができます。

日本留学に関心のある方は、以下のサイトへアクセスして

みてください。

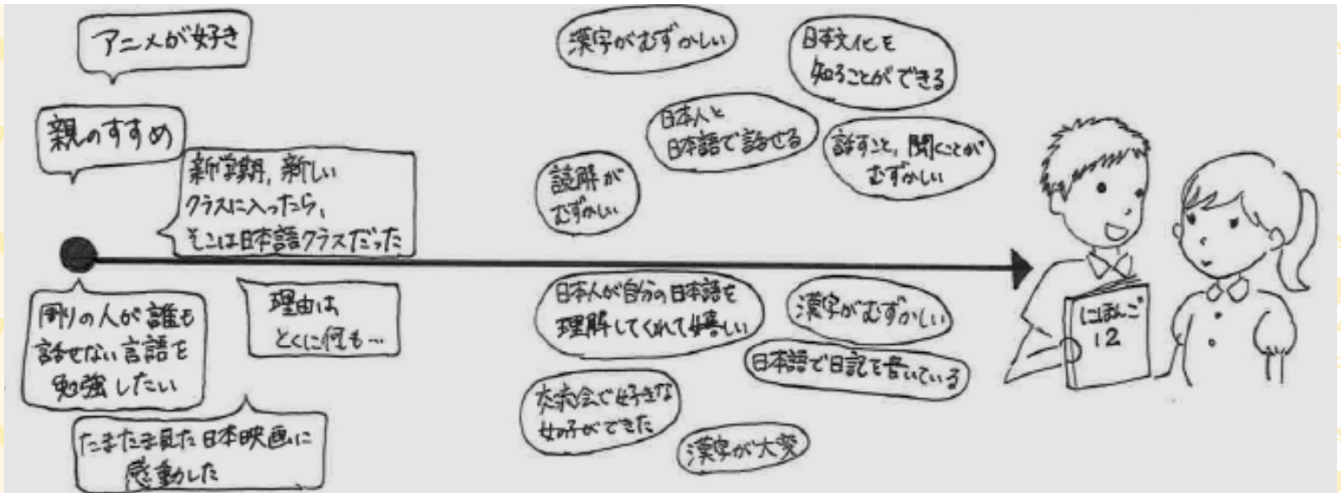
http://www.vn.emb-japan.go.jp/jp/culture/jp_ryugaku.html

笑顔の日本語クラス

今号の執筆者：
国際交流基金ベトナム日本文化交流センター
日本語指導助手 久保田育美

日本語を勉強しているみなさん、みなさんは今学校で、クラスの友だちと一緒に日本語を勉強していますね。みなさんの周りには、日本語を勉強する仲間がたくさんいると思いますが、日本語を勉強しようと思ったきっかけ、日本語に対する思いは、他の人と同じですか？ ……たぶん、同じではないですね。

2016年9月15日に、ハノイの Viet Duc 高校 12年生のクラスで、これまでの自分の日本語学習について振り返り、これからの自分と日本語との関わりについて考える授業を行いました。今回は、かつて日本語学習者であった先輩 3 名にも授業に参加してもらい、経験談やアドバイスを話してもらいました。



上のイラストは、日本語を始めたきっかけと今日本語について感じることに、生徒からのコメントでとくに多かったものをまとめたものです。日本語を勉強したきっかけは、やっぱり一人ひとり違うようですね。今日本語を勉強する中で感じることで、「漢字が大変！」などもたくさん挙がりましたが、日本語ができることで嬉しい、楽しい、ラッキー、と感じている人もいました。さらに先輩の経験談から、日本語学習を通じて「嬉しい、楽しい、ラッキー」と感じたことを大切にしよう！という気持ちになったようです。もちろん、日本語を頑張るコツにも、みんなしっかり耳を傾けていました。

また、生徒一人ひとりに、一年後に卒業を迎える自分が、これから日本語を使って何が出来るか、どんなことをしたいかを一つ挙げてもらい、授業の最後にクラス内でシェアしました。仕事、留学、旅行、ちょっとした会話、結婚・・・、いろいろなことが挙がりましたが、3人の先輩がそれぞれ違った観点でアドバイスをしました。生徒も興味津々で先輩の話に耳を傾け、たくさん質問をしていました。



みなさんが教室の中で勉強している日本語は、日本人や日本文化、あるいはそれ以外のさまざまなことを知るきっかけになります。たとえ日本語を始めたきっかけがどうであれ、教室の外で日本語が使える環境は無限に広がっています！みなさんが、教室の中でも、教室の外でも、日本語を使って笑顔になれる体験ができることを願っています。

★3人の先輩★

国際交流基金ベトナム日本文化交流センター
Ha Thi Thu Hien さん
Nguyen Thi Thu Hien さん
Le Kim Thanh さん



日本語パートナーズのみなさん ようこそベトナムへ！

日本語パートナーズとは、ベトナム中等教育機関で、現地日本語教師と学習者の日本語学習のパートナーとして、授業のアシスタントや会話の相手役といった活動をするとともに、教室内外での日本語・日本文化紹介活動等を行い、ベトナム日本語教育を支援します。同時に、パートナーズ自身も現地の言語や文化についての学びを深め、ベトナムと日本の架け橋となることを目標としています。

今回着任した日本語パートナーズ 3 期の皆さんは、8 月 24 日に着任しました。これから活躍する日本語パートナーズの皆さん一人ひとりの抱負を掲載します。

ホーチミン

a 明田川 優(あけたがわ ゆう)

私達にしか伝えられない日本の魅力を一人でも多くの方に伝えたいです！

b 岩松 勝義(いわまつ かつよし)

ホーチミンでの活動、生活楽しみです。頑張ります。

c 小山 百合絵(こやま ゆりえ)

ベトナムでの新しい生活楽しみです。色々教えてください！

d 寺戸 弘之(てらど ひろゆき)

ベトナムでの生活、経験をエンジョイし、日本を伝えたいと思います。

e 村川 義明(むらかわ よしあき)

ベトナムでたくさんのお会いを楽しみたいです！！

ビンズオン

f 長田 あさみ(おさだ あさみ)

毎日笑顔でたくさんの方を巻き込んで交流していきます！

g 出口 智代(でぐち ともよ)

日本のことを好きになってもらえるよう色々な行事を催します！！

h 波多野 寛治(はたの かんじ)

学校以外にも地域のコミュニティと交流を持てる機会を作りたいです！

i 山科 和也(やましな かずや)

10ヶ月無事にのりきれるように、体調に気をつけてがんばります。

バリアブンタウ

j 加畑 江理(かばた えり)

「日本って面白そうな国だな」と思ってもらえるよう、楽しく頑張ろうと思います！

k 西村 正寛(にしむら まさひろ)

日本とベトナムの交流をより深めていけるように努めたいと思います。

l 平林 大地(ひらばやし だいち)

自分自身もベトナムの魅力を学び、両国の良さを知っていきたいです。



ダナン

m 津田 聖子(つだ せいこ)
住んでこそわかるベトナムの良さをたくさん見つけたいです。

n 三島 保(みしま やすし)
ベトナムの子どもと仲良くなり、楽しくがんばります！

クイニョン

o 谷保 夏世(たにやす なつよ)
初めてのベトナム生活、いろんなことに挑戦して、たくさん楽しみたいです。



フエ

p 石川 里佳子(いしかわ りかこ)
ベトナムの良さと日本の良さを感じ、それぞれの国の人たちにそれを伝えたいと思っています！

q 奥田 富美子(おくだ ふみこ)
ベトナムの文化を沢山吸収して帰りたいです。

r 宮本 慧(みやもと あきら)
ベトナムの様々な文化を楽しみたいです。

s 本橋 誠(もとはし まこと)
生徒の皆さんとベトナム語や日本語の歌と一緒に楽しく歌いたいです！

ハノイ

t 斎藤 正道(さいとう まさみち)
ベトナムのすばらしさを学び、日本とベトナムのかけ橋になりたいと思います。

u 佐々木 恵美(ささき えみ)
日本とベトナムの絆を深められるよう、楽しみながらがんばります！

v 佐藤 葉月(さとう はづき)
おもいきり楽しめます！よろしくお願いします。

w 谷口 賢太郎(たにぐち けんたろう)
もう、ベトナムがいい！日本よりベトナム！ベトナム人になる！ぐらいの勢いで。

x 鶴田 孝俊(つるた たかとし)
新しい世界を学校の生徒、先生と築いていこうと思っています。

y 野村 満里奈(のむら まりな)
ベトナムの子どもたち、先生が「たのしい」と思えるところはどこか考えつつ、そこにふれられる授業をサポートしたいです。

z 松川 光男(まつかわ みつお)
ベトナムの先生と子どもたちと一緒に学びながら、日本をより好きになって頂けたらと思います。

わたしの日本語体験談

各種イベントに参加している
みんなの声を集めました！！

Nguyen Mai Phuong さん

To Hoang 中学校(ハノイ)

どんなイベントに参加しましたか

ベトナム中学生日本語キャンプ2016

- 日本クイズのイベントに参加しました
- ロボットをしました
- キャンプファイヤーを燃やしました

何をしましたか

- 私はステッカーをあつめました。
- 友だちとロボットをしました。
- キャンプファイヤーのイベントで友だちとうたをうたったり、おどったりします。

感想

日本語キャンプにいい思い出がたくさんありました。日本クイズのイベントにいろいろなことを勉強しました。ロボットをすることがちょっとむずかしかったですが、おもしろかったです。ファイヤーのイベントがいちばんたのしかったです。はやくおわりました。もうすこしあそびたいです。私はいつも日本語キャンプをさんかしたいです。

Hoang Huong Giang さん

Lang Thuong 中学校(ハノイ)

どんなイベントに参加しましたか

ベトナム中学生日本語キャンプ2016

何をしましたか

たくさんともだちをつかって、あそんで、日本のかつどうをしました。

感想

楽しかった。いろいろなおもしろいことを知りました。もう一回キャンプに参加したいです。

Nguyen Thi Phuong Thu さん

ハノイ法科大学(ハノイ)

どんなイベントに参加しましたか

ベトナム日本研究学生・ 若手研究者日本語・日本文化訪日研修

毎週、月曜日から金曜日まで、朝9時から12時まで日本語の授業があります。授業で、先生たちと様々な面白いことについて話しました。

そして、他の国の皆さんと一緒に様々な場所へ行きました。例えば、能登へ行きました。9月3日、千里浜なぎさドライブウェイ、気多大社、能登島水族館の所、そして、4日は輪島朝市、キリコ会館、千枚田などを見学にいきました。

そして、たくさんの文化体験のイベントも参加しました。例えば、茶道や書道や和菓子-日本の伝統的なお菓子を作ることもしました。

何をしましたか

石川県で日本語の授業と文化体験のイベントに参加しました。

新しい友達を作ったり、日本人の家族の一員として日本での生活を送ったりします。

そして、日本の美味しい食べ物をたくさん食べることもできます。特に、和菓子や8番らーめんなど石川県の有名な食べ物が好きです。

感想

今回、日本へ行って、本当に良かったです。

日本人の生活を送ることもできたり、日本の面白い事など様々なことも勉強になりました。

初めて和菓子を作ったり、和太鼓をやったり、様々なことをしました。本当に忘れられないと思います。

どんなイベントに参加しましたか**2016年ベトナム高校生にほんご人100人訪日事業**何をしましたか

自分で太鼓を打つことが体験できたり日本料理と日本のベトナム料理を食べたり写真をたくさん撮ったりしました。交流中、多い観光の地点に来ました。例えば富士山や有名なお寺や神社です。そして日本料理をたくさん食べました。それに、太鼓を打つことが体験できました。

感想

この旅は初めて日本へ来ました。その旅はとても楽しくて有益だと思います。日本へ来る前に日本語がほとんど使えませんでした。今日本人と自信を持って話せると思います。特に日本がもっと分かりました。日本の文化、日本人の問題の解決する方法など、色々なことを勉強しました。日本人は優しくて親切です。他に、日本にいた時天候はちょっと寒かったが、日本人はとてもあたたかいです。皆さん、どうもありがとうございます。忘れていません、絶対に。

どんなイベントに参加しましたか**2016年ベトナム高校生にほんご人100人訪日事業**何をしましたか

日本の有名な大学を訪問したり、ゆかたを着たり、列に並んだり、日本文化を少し体験することができました。また、富士山やカシオ社、在京ベトナム大使館、板橋エコポリスセンター、国際交流基金本部も訪問しました。その他にもコンビニやお店で記念品を買ったり、写真を撮ったり、日本語で会話をしたり、日記を書いて、日本で体験したことを残しました。

感想

このプログラムは私にとってとても貴重な体験でした。日本でしか見られないものがたくさんあり、鮮やかで素敵な文化を見つけました。日本の大学や専門学校、高校を訪問し歓迎してもらえました。また、ベトナムと日本の両国に関係する人々と会う機会があったことも一番うれしいことでした。関先生、佐々木先生、笹村先生、松本先生はとてもすばらしい方々でした。私にこのような楽しめる時間を提供いただいた方々のサポートにお礼を伝えたいです。みなさん、本当にありがとうございました。

どんなイベントに参加しましたか**JF 文化講座「ふろしきで学ぶ日本語」**何をしましたか

- ふろしきの歴史や発展について学びました。
- ふろしきの包み方の一部を体験しました。

感想

日本文化の体験講座はおもしろかったです。

ふろしきは便利だし、環境にも良いので、素晴らしいと思います。

ベトナムにも、ビニール袋ではなく、ふろしきのようなものがあればいいと思います。

ベトナム中学生日本語キャンプ2016

2016年7月26日～28日に行われ、ベトナムの5都市(ハノイ、フエ、ダナン、ホーチミン、ビンズオン)から54名の学生、23名の教師が集まり、三日間さまざまな活動を通して交流を深めました。

ベトナム日本研究学生・若手研究者日本語・日本文化訪日研修

2016年8月23日～10月12日に行われ、ベトナムから4名の若手研究者が参加しました。石川県での研修や文化体験、東京・京都への旅行を通して、日本や自分の研究に対する関心を深めました。

2016年ベトナム高校生にほんご人100人訪日事業

2016年6月12日～19日に行われ、ホーチミンの Trung Vuong 高校、ダナンの Hoang Hoa Tham 高校の生徒が参加しました。教育機関や企業、施設訪問、交流、文化体験などをしました。

JF 文化講座「ふろしきで学ぶ日本語」

2016年7月31日に行われ、50名が参加しました。ふろしきについての知識と日本語を学びながら、ふろしきを体験したり、デザインしたりしました。

離任の挨拶

日本語専門家

佐藤 直樹 (さとう なおき)



8月10日にホーチミン駐在の佐藤 直樹(さとう なおき)日本語専門家が3年間の任期を終え、帰国しました。

この度、3年間の任期を終え2016年8月10日に帰国いたしました。今振り返ってみると3年間という期間はあっという間でした。ホーチミンをはじめビンズオン、ドンナイ、ダラット、バリアブントウ、カントーなどベトナム南部をはじめ、ベトナムにて日本語教育に携わる皆様と出会えたことは私にとっての貴重な経験となりました。各種セミナーやイベントなどでは大変お世話になりました。私は12月よりミャンマーに参ります。ベトナムと同じASEANでの日本語教育に携わりますのでまた皆様とお会いできる機会があるかと思えます。その日を心より楽しみにしております。皆様の今後のご活躍とベトナムの日本語教育の発展を心よりお祈りしております。本当にありがとうございました。

10月12日にダナン駐在の笹村 はるか(ささむら はるか)日本語指導助手が2年4か月の任期を終え、帰国しました。

ダナンの中学・高校の先生方をはじめ、学校関係者の皆さまなど本当に多くの方々に支えられ、無事に帰国の日を迎えることができました。この約2年間は、自分にまだまだ足りない部分があることを実感し、一人であれこれ考えることも多かったです。しかし、教室へ行って、元気に日本語を勉強している生徒たちに会うことが私の元気の源となりました。そして、生徒が少しでも楽しく日本語が勉強できるようにと、ベトナム人の先生たちとたくさん話しながら活動できたことは、私にとって学びの多い時間となりました。ベトナムで、また日本から支えてくださった皆さま、本当にありがとうございました！ダナンの海には一度も入りませんでした…海に入るためにもいつかまたベトナムに戻って来ようと思います！

日本語指導助手

笹村 はるか (ささむら はるか)



日本語指導助手

佐々木 馨 (ささき かおり)



8月6日にハノイ駐在の佐々木 馨(ささき かおり)日本語指導助手が2年間の任期を終え、帰国しました。

Xin chào các bạn! 日本は天高く馬肥ゆる秋となりました。在任中は中学校・高校の先生、生徒のみなさんをはじめ、大学やセンターのみなさん、日本語を使ってお仕事されている方、日本人の方、ベトナムにいるたくさんの方にほんごの方と一緒することができました。任地を離れ、改めて私自身の大きな糧となっていると感じています。みなさんにとっても、日本語・日本文化と関わることによって「なにかいいこと」があればうれしく思います。2年間、本当にありがとうございました。またどこかでお会いできることを楽しみにしています。Hẹn gặp lại!

着任の挨拶



日本語専門家

中尾 菜穂 (なかお なほ)

7月25日に中尾 菜穂(なかお なほ)日本語専門家がホーチミンに着任しました。

みなさん、はじめまして。このたび、ホーチミンに着任しました中尾菜穂(なかお なほ)と申します。主に南部ベトナムの中等教育支援を担当します。まだ学校の授業は少ししか見学できていませんが、熱心な先生方と一緒に生徒の皆さんがとても楽しそうに日本語を勉強している様子を見て、とても嬉しく感じています。これから、みなさんの日本語学習、日本語教育のお手伝いをしながら私自身も成長していけるよう、頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

10月2日に黒田 朋斎(くろだ ともなり)
日本語専門家がダナンに着任しました。

日本語専門家

黒田 朋斎(くろだ ともなり)

みなさん、こんにちは、あるいはお久しぶりです。日本語専門家としてダナンに派遣されました、黒田朋斎と申します。担当業務は中等教育を中心にしたダナンの日本語教育の支援です。実は、私は1995年からフエに4年、ホーチミン市に8年、様々な形でベトナムの日本語教育に携わっていました。今回、第二の故郷とも言えるベトナムの、大好きな町ダナンで再び仕事ができる機会をいただき、とてもうれしく思っています。皆さまのお役に立てるよう力を尽くしますので、どうぞよろしくお願いいたします。



❖新着情報❖

2016年9月より、ベトナムの初等教育で日本語の授業が始まりました！

ハノイ4校、ホーチミン1校で、小学生が日本語を勉強しています！